

氏名	兼宗 美幸	部署	保健医療福祉学部看護学科	職名	教授
研究分野	母性看護学・助産学				
学位	博士（看護学）甲第22号				
学歴	1986年千葉大学看護学部看護学科卒、2000年文教大学大学院人間科学研究科修士課程生涯学習学専攻終了、2020年順天堂大学大学院医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	1986年都立築地参院（当時）助産師、1989年埼玉県立衛生短期大学看護学科助手、1996年同講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2020年度現職				
所属学会（役職）	日本看護科学学会（査読委員）、日本母性看護学会（査読委員）、日本母性衛生学会（査読委員）、更年期と加齢のヘルスケア学会、日本女性医学学会、日本女性心身医学会、日本看護研究学会、日本看護教育学会（査読委員）、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会、日本看護歴史学会、日本看護技術学会、日本看護シミュレーション学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	母体・胎児集中治療室(MFICU)入院中の切迫早産妊婦への看護(第2報) MFICU入院中の切迫早産妊婦が抱く看護への思い	共著	あり		日本母性看護学会誌、22(1)、17-25	野中悠、大月恵理子、兼宗美幸
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	明治・大正・昭和初期の妊娠出産本・産婆教科書にみる妊産婦栄養の記述～国立国会図書館デジタルアーカイブを用いて～	共同	日本看護歴史学会、Web開催	坂本めぐみ、兼宗美幸		2021年8月
2	助産師による性の健康を守るケアの様相面接による実践内容の聞き取りから	共同	日本母性衛生学会、Web開催	服部弓子、鈴木幸子、兼宗美幸		2021年10月
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)	児童生徒のインターネットゲーム障害を予防・早期発見する専門職研修プログラムの開発		研究分担者	2021年4月 - 2025年3月	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	ヒューマンケア論①②		1	「産まない権利から生を見つめる」をテーマに全学科1年生を対象に45分間のビデオ教材を作成し、多様な視点で生を考える話題を提供した。		
2	リプロダクティブヘルスと看護		1	「性暴力と被害者支援」前年度の学生の感想や意見を踏まえて教授内容（性暴力被害者の看護の事例の提示と解説）を改善した。		
3	母性看護学Ⅰ		1	「女性の健康とDV」では前年度の学生の感想や意見を踏まえて教材を精査し、デジタル教材及び方法（デートDV被害者の看護の実際を事例で解説）を改善した。		

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	周産期のケア		5	「助産倫理」「地域母子保健」の講義と対面での実技演習時間が活用できるよう、対象者(妊産褥婦や家族)の視点でのケアの検討や振り返りができるように関わった。
2	分娩期のケア		28	「分娩の生理」「分娩介助の意義」などの講義や遠隔・対面での分娩介助技術の学習を積み重ねるよう映像や資料を改善した。分娩介助技術練習の安全で確実な人的・物的環境を整備した。
3	大学院前期課程 リプロダクティブヘルス論		4	「性暴力と被害者支援」「特定妊産婦と産後ケア」のテーマに添った関連文献との討議を実施し、院生の研究テーマに関する知見を深めた。
4	大学院前期課程 看護学演習（リプロダクティブ）		4	院生の研究テーマに沿った文献抄読とディスカッションを実施し、参加院生の研究方法と研究テーマに関する知見を深めた。
5	大学院後期課程 次世代育成看護論		4	「リプロダクティブヘルスの支援」「子育て家族の健康増進支援」の文献抄読と討議により院生の研究テーマを深めた。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	助産学実習Ⅰ		学外実習：2021.5～2021.6	協力が得られた保健センターで地域母子保健の実習を支援した。事業を見学やカンファレンスに関してGWで理解が深まるよう支援した。
2	母性看護学実習		学外実習：2021.5～2021.6	地域での母性看護学実習2を支援した。RHの課題の調査とまとめに関してGWで理解が深まるよう支援した。
3	総合実習		学外実習：2021.7	臨地実習を半日間3週間実施した。臨地実習指導者の協力を得て、1年ぶりの臨床実習となる学生の反応に合わせて課題や実践を調整した。
4	助産学実習Ⅱ		学外実習：2021.8～10	コロナ禍で実習方法を調整しながら3名を臨地で指導した。様々な状況下で産婦のケアの原則を体験から学ぶよう学生を支援した。
5	IPW実習		2021.10. 学内実習：6日間	4年次生6名を臨床との遠隔実習で教員FTとして支援した。実習施設FTと他グループ教員FTと連携と統合を実践できるよう支援した。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数		
1	卒業論文	2021.4-2022.3	主指導	4名	副指導 0名
2	修士論文	2021.04-現在に至る	主指導（指導教員）	2名	副指導（指導補助教員） 0名
3	博士論文	2020.04-現在に至る	主指導（指導教員）	0名	副指導（指導補助教員） 2名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし		

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	特別授業	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	性教育講義	2021.11
2	専門職公開講座	埼玉県立大学	臨床家のための看護研究セミナー	2021.6-2021.12

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本母性衛生学会	査読委員	2020.4～現在
2	ウィメンズヘルス研究所	幹事	2020.04～現在
3	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	第12回学術集会企画・準備委員	2021.01～2021.11

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし	越谷市立病院	病院経営審議会委員	2019.4～現在
2	該当なし	草加市立病院	看護研究指導	2020.4～現在
3	該当なし	認定特定非営利法人こしがやともろう	理事	2017.7～現在
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	名誉教授選考委員会委員		2022.02
2	学生支援	1年次担任および担任長		2020.4～現在
3	学科等における委員会等	実習計画調整会議長		2020.4～現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				